【教科別の評価規準】

英　語	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	基礎的・基本的な知識を確実に習得しながら、既存の知識と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、学習内容を深く理解している。実際のコミュニケーションにおいて、一定の手順や段階を追って獲得した個別の技能を、自分の経験やほかの技能と関連付けながら、状況や課題に応じて活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、既存の知識や体験などと関連付けながら判断し、表現したり伝えあったりすることができる力を身に付けている。	聞き手、読み手、話し手、書き手の外国語の文化的背景に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとしている。活動に応じて、相手の理解を確かめながら話そうとしたり、相手に共感的に受け止める言葉を返しながら聞こうとしたりしている。
評価方法 評価材料	定期テスト パフォーマンステスト ノート・ワークシート等 単語テスト・文法テスト	定期テスト パフォーマンステスト ノート・ワークシート等	行動観察 ノート・ワークシート 振り返りシート

学年到達目標（CAN-DO LIST）

（1）１年

聞くこと	ゆっくりはっきりと話されれば、質問や依頼などを聞いて適切に応じたり、自分の身の回りの人や事柄に関する短い会話や説明を聞いて、聞き返したり確認したりしながら、話の概要や必要な情報を理解することができる。
読むこと	文字や符号を識別し、正しく発音することができ、短い物語や説明文を読んで、書かれた内容を考えながら黙読したり、あらすじや必要な情報を読み取ることができる。
話すこと（やりとり）	自分や周りの人・ものの様子や事実であれば、相手に確認しながら質疑応答をし、事実や気持ちを伝え合うことができる。
話すこと（発表）	自分や周りの人・物の様子や事実を正しく伝えることができる。
書くこと	自分や身の回りの事について、文字や符号の認識、語と語の区切りやつながりに注意しながら、簡単な語句や英文を書くことができる。

（2）２年

聞くこと	身近な話題に関する会話やまとまりのある英文を聞き、聞き返したり確認したりしながら、概要や要点を理解することができる。
読むこと	まとまりのある内容について、その内容が表現されるように音読することができ、感想を述べたりすることができるよう事実を正確にとらえ、概要や書き手の意見、考えなどを読み取ることができる。
話すこと（やりとり）	身近な題材であれば、相手に確認しながら質疑応答し、新しい情報を付け加えたり、感想や意見等を伝え合うことができる。
話すこと（発表）	身近な題材について自分の考えや気持ち、理由等を正しく伝えることができる。
書くこと	身近な場面における出来事や体験したことについて、文と文のつながりを意識して自分の意見や状況を説明する英文を書くことができる。

（3）３年

聞くこと	まとまりのある英文を聞いて、感想や賛否、その理由などを考えながら概要や要点を適切に聞きとることができる。
読むこと	絵、写真、図表を活用しながら内容を読み取ったり、まとまりのある内容についての感想や意見、賛否やその理由を表現できるように、主体的に読み取ることができる。
話すこと（やりとり）	聞いたり読んだりしたことなどについて、感想や考えを述べたり、別の表現に言い換えたりしながら、情報交換や意見交流ができる。
話すこと（発表）	与えられたテーマについて、キーワードやメモ、マッピングなどをもとに自分の意見や主張等を含め、聞き手に対して分かりやすく話すことができる。
書くこと	与えられたテーマについて、論理的な展開や段落を意識して、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文章を書くことができる。